

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達センター ぼこあぼこ			公表日	2025年 2月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	19	0	・利用定員は、支援が全体に届くように人員配置を工夫していると思う。	・広さはあるが、活動内容によるレイアウトの工夫は必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17	2		・メンバーは特性に応じて組まれていると思うが、人手が足りないと感じる時がある。 ・利用者のレベルにより、適切な場合とそうでない場合がある。 ・男性スタッフが少なく感じる日が多にある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17	2		・小さな段差がある。 ・手洗い場がコップのある位置やハンドソープが小さい子は取りづらそう。 ・NOT構造化 ・段差はあるため、障がいによっては配慮が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	19	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18	1	・個部屋、相談室など、こどもが個別に利用出来る部屋が整備されていると感じます。	・利用者自身で選択できるようになっていない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	15	1	・ほぼ常勤のみで行っている。	・非常勤の参画が少ない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	・面談等でも意見を伺うようにしている。	・送迎時にやり取りを増やして改善できることに取り組んでいきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	1	・日々の情報共有や研究会での意見交換など、意見を伝える環境がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	3		・外部評価に関して、把握できていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	17	0	・オンラインでも参加可能 ・定期的に行っている。 ・ケース会議や虐待防止などの勉強会など行なっている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	19	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	18	0	・契約時、面談時に保護者の方から様子や希望、課題など伺う時間を作っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	19	0	・支援に入る前に毎回支援計画を確認し、意識を持って関わられるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	1		・フォーマルアセスメントはしていない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	1	・職員が、スタッフや子どもの意見を聞いているのを目にしている。 ・スタッフ間で検討している。	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達で活動を考える日もあり、色々活動できているなど感じます。</li> <li>・固定化されている印象はなく、同じプログラムでも進行する人を変えている事でやることの幅が変わっていることがある。</li> <li>・週間で変化をつけ、固定化、連続化しないように努めている。</li> </ul>	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	16	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午前中に必ずミーティングを行っている。</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気づいた事はなるべくすぐ口頭で伝えていく。個人情報に留意しながらメールで報告することもある。</li> <li>・支援記録をもとに共有できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ずではない個人間でとどまっていることもある。</li> <li>・気が付いた人が報告の様子を見ることがある。</li> <li>・必ずではない。</li> </ul>
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動記録を読み、前に書いた人のアドバイスを自分も試しながら支援をしている。</li> <li>・担当についた者が基本的に記録をとり、支援の振り返り、引継ぎを行なっている。</li> </ul>	
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に一度モニタリングをし、支援計画の見直しを行なっている。</li> </ul>	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	12	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っているが、地域交流が少し弱い。</li> </ul>
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	17	0			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で少しなくなったが、電話のやりとり等行なっている。</li> </ul>	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療関係の連携は弱い。</li> </ul>
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校側からの情報提供あり。</li> </ul>	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない。</li> <li>・分かりません。ある場合とない場合があると思います。</li> </ul>
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所とのやり取りにとどまっている。</li> <li>・わからない。</li> </ul>
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・把握できていません。</li> <li>・分かりません。あるかも知れませんが分かりません。</li> </ul>
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・把握できていません。</li> <li>・交流はない。</li> <li>・共に遊ぶことはあまりないが、同じ場所で時間を共にしたり、周囲を子どもたちが見ながら過ごしていることがある。</li> <li>・参加したことがない。</li> </ul>
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・把握できていません。</li> <li>・送迎時や連絡帳で少しでも情報共有できるように努めている。</li> <li>・分かりません。</li> </ul>
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や電話で日頃の状況を話している。</li> </ul>		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・恐らくやってないと思います。部分部分ではあるかもしれません。</li> </ul>	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	1	・担当者が行っている。	・家族で知らない人も居るかも知れない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	17	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	9		・把握できていません。 ・分かりません。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	1	・苦情があった場合に適切に対応できるよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	17	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	0	・送迎時や電話で日頃の状況を話している。また表現に気を付けている。 ・写真やイラストを使ったやり取りを行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	8	7		・分からない。 ・分かりません。 ・なかなか難しいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0	・避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	18	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	1	・家族の指示に基づく対応としている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	0	・業務連絡のファイルに分かり易く記載してあると思う。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0	・虐待防止委員会を設置し、研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	15	1	・事前に身体拘束における説明をしている。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達センター ぽこあぽこ

公表日 2025年2月1日

利用児童数 2024年12月16日 34名

回収数 25

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	4	1	2	・活動を見学したことがないため。	動のスペースと静のスペースと分けて活動できるようなおもちゃ等の配置をしていきたいと考えています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	2	1	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	2	0	1		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	2	0	0	・子供をよく観て、何を望んでいるかを捉え、意思表示ができるよう、アプローチの方法を伝えている。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	1	0	0	・本人の課題である「目標物に視線を向けること」を短期目標とし、目の位置から指を伸ばして目標物を見るように視線誘導する等の支援をしている。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	0	0	1	・就労生活（生活介護）を見据え、意思表示ができるよう、表情の変化から本人の意思を読み取り、好きな物ややりたい事に対して手を挙げるという動作を示し、定着させる支援をしている。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1	0	0	・造形、運動遊び、音楽、おやつ作り、公園遊びに加え、遠足や夏祭り、ミニキャンプ等の行事もあり、幅広く多彩な活動プログラムが用意されている。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	4	15	・機会がありましたら交流できたらと思います。 ・なくていいです。	近隣地域のイベントなどで地域の子どもたちとの交流もできるように考えたいと思います。
保護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	0	・いつも丁寧に説明して下さりありがとうございます。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	4	6	7	・学校やPTAでの研修会等があるので放デイではなくてもいいと思います。 ・面談でいろいろ教えていただけるので充分です。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	24	0	0	1	・面談や連絡帳などを通して情報共有でき理解していると思います。 ・子供の健康状態や困った状況について、連絡帳を通してだけでなく、送迎時に直接話して伝え合っている。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1	0	0		

者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	11	5	・きょうだい児向けのイベントが近くにはないので、あると参加したい。 ・なくていいです。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	2	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	2	0	2	・この評価アンケートは毎回結果の発表がないため。（他の情報はあるので「はい」です） ・活動の様子がよくわかるたくさんの写真とコメント入りのおたよりや行事のしおり、メール連絡等、密に行っている。	評価アンケートを公表し次第案内をいたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1	0	3	・各マニュアルはあると思いますが保護者への説明にはいたっていないため。（地震はあります）	各種マニュアルは作成し、スタッフの研修会等で取り上げています。保護者への説明は出来ていませんでしたので、面談等のタイミングで行ってまいりたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	0	0	0	・定期的に土曜日「ぼこあぼこ」に通えるようになり、お迎えの車を待つ間の表情がにこやかで、楽しみにしていることがうかがえる。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1	0	0	・本人の課題に対し、具体的な支援の実施方法について明示し、様々な活動の中で実践していただいているので、大変ありがたいと思っている。 ・いつも楽しいプログラムを用意していただきありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達センター ぼこあぼこ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 16日		～ 2025年 1月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2024年 12月 16日		～ 2025年 1月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>多彩なプログラム</li> <li>プログラムのチーム立案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムを1人で決めずに、職員間で相談して決めている。</li> <li>メンバーに意見を聞く機会も設けメンバーの意見を取り入れる取り組みをしている。</li> <li>同じプログラムでも進行役を変え、変化を付けるよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの機会を増やす。</li> <li>活動内容自体を話し合いとして、メンバーの意見を主とした活動を企画する。</li> <li>新しいプログラム、活動内容を考える。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の記録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動後全メンバーの記録を付け次の活動につなげるようにしている。</li> <li>記録を活動前に確認して、当日の活動に活かしている。</li> <li>記録を書く時間も、確認する時間も勤務時間としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録の書き方を共通にすることで分かりやすい記録にする。</li> <li>ICTを活用し記録へのアクセスを簡易にする。</li> <li>記録に対し意見を言える風土を作る。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間の情報共有・意見交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気が付いたこと、困ったことなどをすぐに言えるような環境(風土)を意図して作っている。</li> <li>特記事項や、気にした方が良さそうなことは業務連絡としてすぐに共有している。</li> <li>研修会などでも意見を拾う機会を設けるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>直接は言いにくいなどの事も考え、匿名で意見を言えるシステムを作る。</li> <li>ICTを活用し、携帯でも情報共有できるシステムを検討する。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部との連携 (地域交流・医療連携・保護者会・就学前施設など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援や事務業務で手一杯になることが多く、外部機関との会議や連絡調整には時間がかかるため、連携の重要性を理解していても、業務優先度が低くなりがちである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部のイベントや連絡会に参加し、関係を構築する。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放デイとしてやっている情報発信はおたより(通信)のみとなっている。</li> <li>日々の支援の内容やアンケートなどの公表についての情報発信業務の優先度が低くなっていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用し、簡易に情報発信できる仕組みを検討する。</li> <li>研修会の内容や資料を発信する。</li> </ul>
3			